

編 集 後 記

徳島赤十字病院 臨床工学技術課 高 松 誉 明

トランプ大統領の就任以来、世界中が混乱状態となった2017年、日本でも様々な出来事がありました。「将棋の史上最年少棋士、藤井4段最多連勝更新」、「陸上男子100m 桐生選手9秒98を記録」など、その中でも微笑ましかったのは、上野動物園のパンダ「シンシン」が5年ぶりに出産したことではなかったでしょうか。その昔、中国との友好関係を築く上でパンダが日本にやってきました。そして、今また赤ちゃんが生まれパンダブームとなっています。名前は「シャンシャン」に決まり、順調に成長しているようです。「シャンシャン」といえば阿波弁で「しゃんしゃん＝早く」という意味で、幼いときによく「しゃんしゃんしなさい。」と言われたことを思い出します。

さて、2017年は我々臨床工学技術課でも、初めて海外支援を行う機会を得ることができました。アフリカ大陸にあるザンビアに3週間ほどではありますが、技士一人が教育支援に行き、その後、その国からはるばる一人の技士がもっと技術を習得したいと研修にやってきました。こういう国際交流および支援が今後も継続的に行えるように我々も努めなければならないと思っています。

本医学雑誌も今回で第23巻となりました。今までに数多くの原著、症例報告、臨床研究が投稿されましたこと、編集委員として有難く思っております。日々の多忙な診療、業務の合間に学会発表や論文作成を行うのは大変なことだとは存じますが、各々の分野での成果を世界に発信することは非常に大切なことではないでしょうか。

皆様にこれまでのお礼と今後の継続的な投稿のお願いをして、編集後記とさせていただきます。